

羊毛断熱材 ウールブレス

施工マニュアル

株式会社アイティエヌジャパン



住む人と環境への思いやりが形になった断熱材 ウールブレス

この度は「羊毛断熱材 ウールブレス 施工マニュアル」をお手に取って頂き、誠にありがとうございます。

ウールブレスの特性を十分に発揮して頂くためには、製品を正しく施工して頂くことが大切です。

安全に正しく施工して頂くために、ぜひ本マニュアルをご活用下さい。

株式会社アイティエヌジャパン

💡 簡単施工

ウールブレスの施工には特別な器具は必要ありません。初めての方でも簡単に施工して頂けます。

🌍 環境

ウールブレスの端材は全て有効活用できるので、廃棄物がありません。



Contents

- はじめに・・・ 1
- 断熱施工の基本・・・ 2
- ウールブレスの施工部位・・・ 3
- ウールブレスの基本的施工・・・ 4
- 壁への施工・・・ 5~7
- 床への施工・・・ 8
- 屋根・天井への施工・・・ 9
- ウールブレス商品一覧・・・ 10

👶 安全

ウールブレスはお子様の手に触れても安心・安全な断熱材です。

🏠 快適

ウールブレスは有害な物質を一切含まず製品化しています。住む人はもちろん、家を建てる人にも心地良い断熱材です。



施工に必要なもの



コンベックス



手袋



ヘルメット



刃の長いハサミ



タッカー(ステーブラー)

断熱施工の基本



「住宅の平成25年 省エネルギー基準の解説」
一般社団法人 建築環境・省エネルギー機構

ウールプレスは、平成25年省エネ基準の解説書の「施工の基本」に則った施工を推奨しています。
断熱施工の大きなポイントは、

- 断熱材を隙間なく施工する
- 気流止め(※1)を設置する
- 防湿層(室内側) (※2)を設置する

の3点です。

(※1)気流止めとは、躯体内気流を防止し、断熱効果を維持するものです。
(※2)ただし、結露の発生防止に有効な措置が講じられていることが確かめられた場合にあっては、この限りではありません。

ウールプレスにおける結露発生防止措置としては

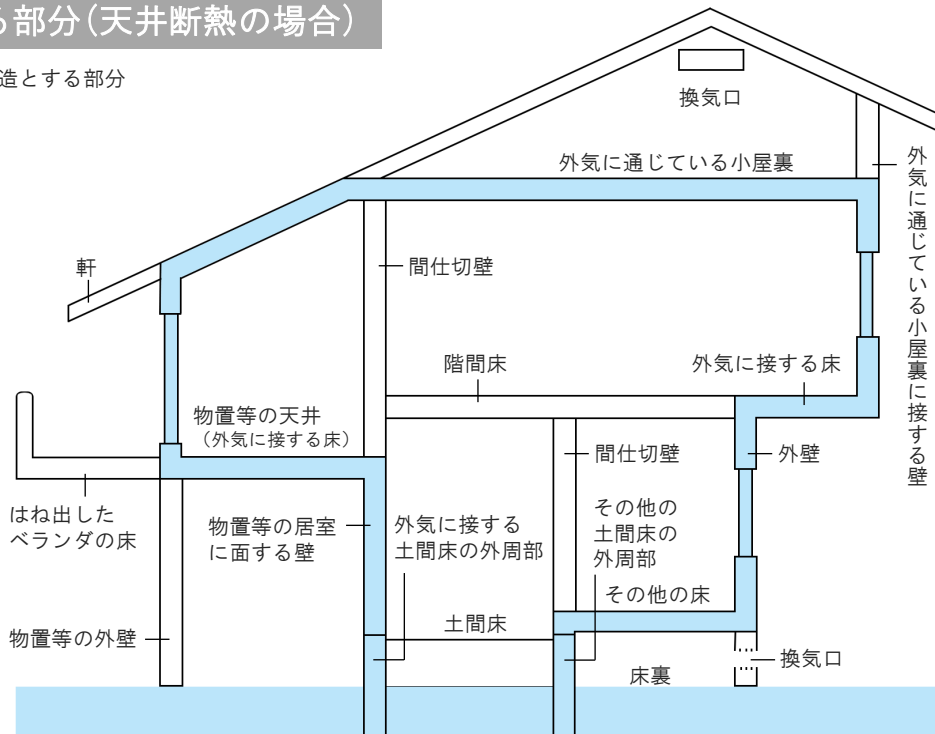
- ①防露認定を使用する (V-100ロールに限る)
- ②内部結露計算 (定常計算) (※3)を使用する

以上の措置により、防湿層を省略することが可能になります。

(※3)改正省エネルギー基準における防湿層の設置を省略できる要件、内部結露計算(定常計算)は、結露の発生防止に有効な措置が講じられていることを確かめる計算方法です。(地域・仕様によっては省略できない可能性があります)

断熱構造とする部分(天井断熱の場合)

断熱構造とする部分



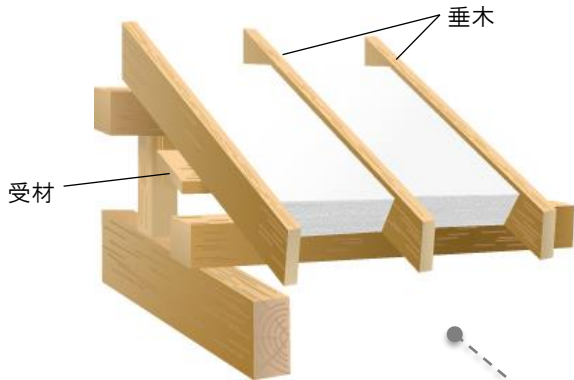
※ただし、以下に該当する部分は、断熱材を省略できます。

1. 居室に面する部位が断熱構造となっている物置、車庫、またはこれらと同様の空間の居室に面する部位以外の部位
2. 外気に通じる床裏、小屋裏または天井裏に接する外壁
3. 断熱構造となっている外壁から突き出た軒、袖壁、ベランダ、その他これらの類するもの
4. 玄関・勝手口および、これに類する部分における土間床部分
5. 断熱構造となっている浴室下部における土間床部分

ウールブレスの施工部位

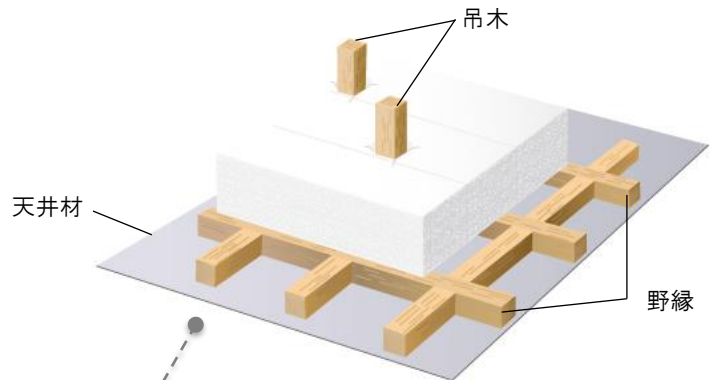
屋根断熱

屋根垂木との間に隙間を作らないように充填し、垂木の下面にバラ板等の受材で垂れないようにして下さい。



天井断熱

野縁の上にウールブレスを隙間なくつめて下さい。

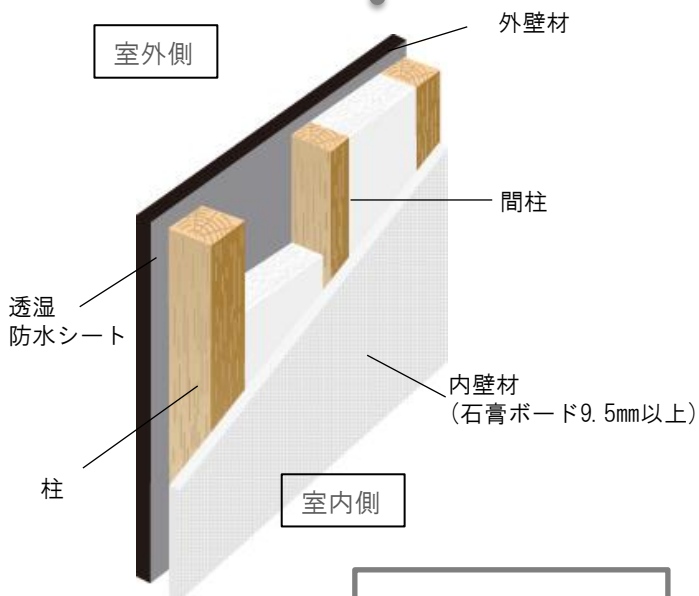


→9ページ

※ 部分がウールブレス施工部位です。

壁断熱

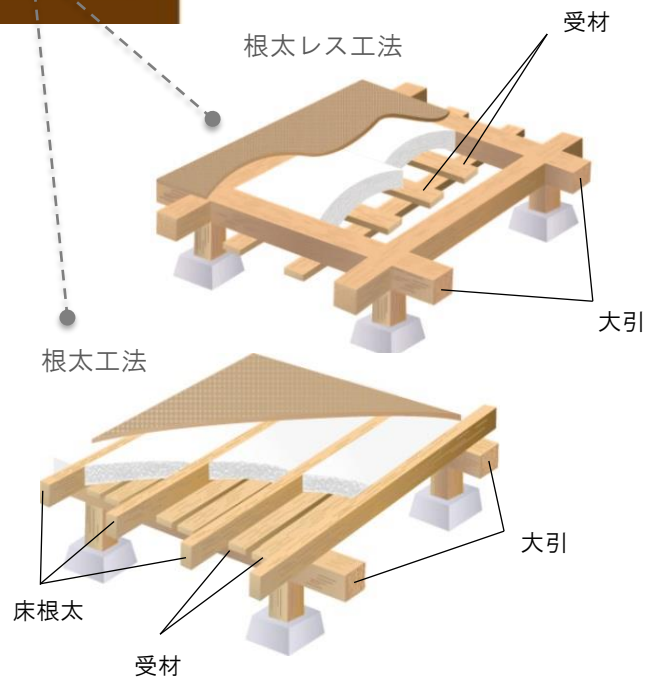
タッカー（ステープラー）で、上部から留めていき柱、間柱間で留めて下さい。



→5~7ページ

床断熱

根太の下面にバラ板等の受材で垂れないようにして下さい。



→8ページ

ウールブレスの基本の施工

断熱材を施工する上で1番大切なことは、隙間なく断続的に施工することです。隙間が発生するとそこから熱が逃げてしまい、性能の効果が得られなくなります。

- ウールブレスとその室内側にある材料の間に空間をつくらないようにして下さい。
- 枠材とウールブレスの間や、ウールブレス同士の間隙間をつくらないようにして下さい。
- ウールブレスに裏表はございませんが、コシのある固い面を室内側にさせていただくとタッカー留めがしやすくなります。

タッカー（ステープラー）の留め方

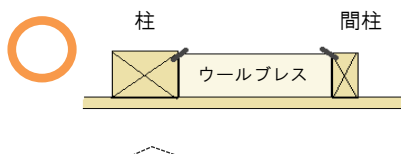


1. ウールブレスの表面をつまみ、留め付けます。



2. タッカー（ステープラー）の間隔は150~200mmです。

施工上のポイント



できるだけ室内側に近いところで留めて下さい。



このように留めると室内側に空間ができてしまいます。



- カットするのは裁ちばさみが適しています。カッターナイフではうまくカットできません。カットする時は刃先の長いしっかりとしたハサミをご使用下さい。
- 電動ドリルは使用しないで下さい。ウールブレスは羊毛繊維が強力に絡み合っており、電動ドリルを使用すると機械が破損する恐れがあります。安全のためにもご使用にならないよう、お願いいたします。

取扱い 注意点

お届け時（圧縮梱包）

サイズ：60cm×60cm×100cm
（縦×横×高さ）

- 雨水に接する場所での保管は避けて下さい。また、ウールブレスを積み重ねたり、重量物の下積みにはしないで下さい。
- 直射日光はなるべく避けて保管して下さい。
- 圧縮梱包しておりますので、所定の厚みに戻するのに数日必要です。（開封後すぐに施工していただいても問題ありません）



開梱後 1ロール（数日経過）



壁への施工

(1) 基本の壁



① 充填する箇所を採寸します。



② 採寸した寸法より200~250mm長めにカットします。
※折しろ部分を作る



③ ウールプレスの上端を折り曲げます。



④ 折り曲げた状態のまま上部に押し当てて充填します。



⑤ 上部をしっかりと留め付けて下さい。



⑥ しわと隙間ができないよう注意しながら充填していきます。



⑦ 片側ずつ150~200mm間隔で留めていきます。



⑧ 下部折しろ部分を折り込むように納めます。



⑨ 折り込んだ部分をタッカーで固定して完了です。



施工完了

(2) 筋交い



① 壁の高さを採寸し、ウールプレスを寸法に合わせてカットします。



② 筋交いの裏にウールプレスを入れ込んで充填します。



③ 両サイドをタッカーで固定します。



④ 筋交いに添って切り込みを入れます。(50mm程度)



⑤ 切り込んだ部分をタッカーで固定します。
あとは「壁への施工・基本の壁」と同様に施工します。



施工完了

(3) コンセントボックス周りの施工



① コンセントボックスの高さに添って切り込みを入れます。



② 切り込んだ部分をボックスの後ろに回します。ボックスの後ろに隙間ができないよう、注意して下さい。



施工完了

- 浴室乾燥機
- インターホン

基本はウールプレスの裏側(屋外側)に配線・配管を行って下さい。
その他の洗濯パン周りや開口工事に関しても同じ要領で施工して下さい。

(4) サッシ周りの施工



① ウールプレスの端切れを用意します。



② 隙間に埋めていきます。

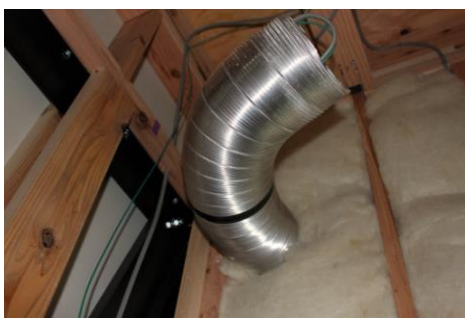


施工完了

(5) スリーブの施工



① ウールプレスにスリーブを入れる場合はドライバー、桐(きり)等で小さい孔を開け、手で必要な大きさになるようウールを押し広げます。



② スリーブ管を入れます。
※スリーブ管の周りはウールプレスでしっかり覆って下さい。

施工完了

(6) 小さいスペース



ウールプレスの端材は全て有効にお使い頂くことをお勧めします。
小さいスペースなどのあらゆる隙間に入れて頂くことで断熱効果をさらに高めることができます。

床への施工

(1) 根太レス工法



① 土台・大引の間にバラ板等の受材を施工します。



② さらに受材をこのように配置します。



③ ウールプレスを敷き込んで施工完了です。

施工完了

(2) 根太工法



① 土台・大引の上面に床根太を施工します。



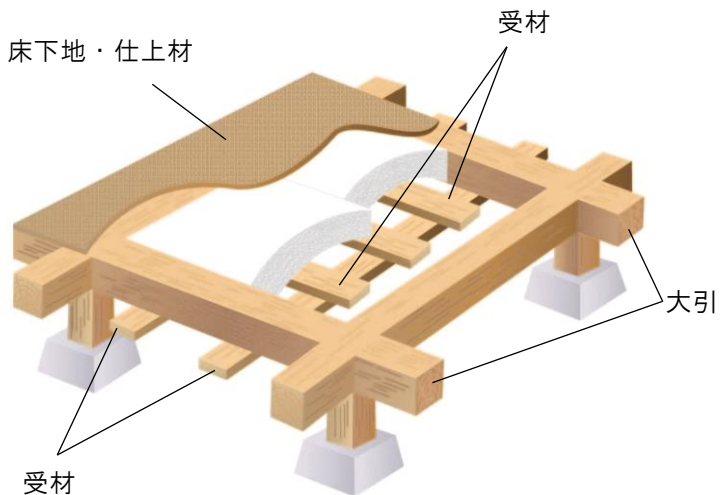
② さらに受材を配置します。



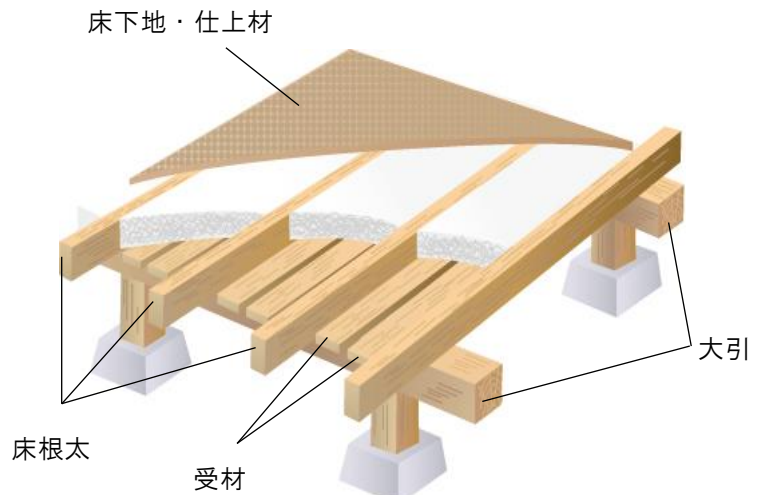
③ ウールプレスを敷き込んで施工完了です。

施工完了

根太レス工法 イラスト 図解



根太工法 イラスト 図解



屋根・天井への施工

(1) 基本の屋根



① 採寸・カット済みのウールブレスを天井に充填します。



② 隙間やたるみができないように注意して押し込んでいきます。



施工完了

(2) 基本の天井



① 吊木と干渉する部分はウールブレスに切り込みを入れます。



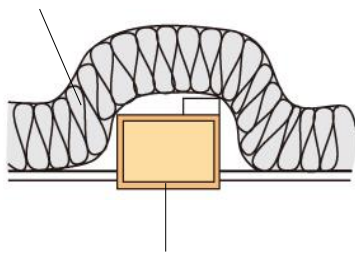
② 吊木にウールブレスを巻き込みます。隙間を生じさせないように注意して下さい。



施工完了

(3) 照明(ダウンライト)

ウールブレス



S型埋め込み照明器具

ダウンライトを設ける場合はS型埋め込み器具を使用して下さい。
その他のダウンライトの場合は照明にウールブレスが接しないよう、その部分をカットして施工して下さい。
※詳しくは各メーカーのカタログをご参照下さい。

ウールブレス 商品一覧



Vtype バージンウール70%のスタンダード商品

商品名	1ロールあたりのサイズ (厚み×幅×長さ)	入数 (ロール)	1梱包の面積
V-200ロール	185×435× 5,250mm	2	4.567㎡ (約1.5坪分)
V-140ロール	140×435× 7,500mm	2	6.525㎡ (約2.0坪分)
V-120ロール	120×435× 10,500mm	2	9.135㎡ (約3.0坪分)
V-100ロール	100×435× 10,500mm	2	9.135㎡ (約3.0坪分)
V-100ロール【470巾】 (メーターモジュール用)	100×470× 10,500mm	2	9.870㎡ (約3.0坪分)
V-100Fロール【270巾】 (床下用)	100×270× 10,500mm	3	8.505㎡ (約2.5坪分)
V-100ロール【900巾】 (根太レス用)	100×900× 10,500mm	1	9.450㎡ (約3.0坪分)
V-60ロール	60×435× 15,000mm	2	13.050㎡ (約4.0坪分)
V-60Fロール【270巾】 (床下用)	60×270× 15,000mm	3	12.150㎡ (約4.0坪分)



Rtype エコロジーを追究して生まれたアイティエヌジャパンだけのオリジナル商品

商品名	1ロールあたりのサイズ (厚み×幅×長さ)	入数 (ロール)	1梱包の面積
R-110	100×435× 10,500mm	2	9.135㎡ (約3.0坪分)
R-110【470巾】 (メーターモジュール用)	100×470× 10,500mm	2	9.870㎡ (約3.0坪分)



Ntype 100%ナチュラル。自然素材にこだわる貴方へ

商品名	1ロールあたりのサイズ (厚み×幅×長さ)	入数 (ロール)	1梱包の面積
N-100	100×435× 10,500mm	2	9.135㎡ (約3.0坪分)

お問合せ・ご不明点はこちらから

 0743-59-0569

ITN Japan Co., Ltd.

〒639-1123 奈良県大和郡山市筒井町728-1 三陽ビル2F
TEL: 0743-59-0569 FAX: 0743-59-0432

<https://www.itnjapan.com>